

家庭用都市ガススマートメーターの導入について

東邦ガスネットワーク株式会社（社長：柴田 喜充）は、都市ガススマートメーター（以下、スマートメーター）^{※1}をご家庭のお客さまに導入します。

本年6月から家庭用スマートメーターの設置^{※2}を開始し、同年10月から通信を開始する計画です。通信の安定を確認できたスマートメーターから順次、遠隔検針などを実施していきます^{※3}。2030年代半ばまでには、ガスメーターの検定満了に伴う取り替え^{※4}などの機会を通じて、対象となるすべてのお客さまにスマートメーターを導入していく予定です。

現在、家庭用に広く使用されているガスメーターはマイコンメーターと呼ばれ、お客さまのガス使用量を計量するだけでなく、内蔵しているコンピューターで24時間ガスの安全を見守っています。スマートメーターは、これらの安全機能に加え、通信による「遠隔検針」「遠隔開閉栓操作」「遠隔データ収集」が可能となる新しいタイプのガスメーターです。

当社は、上記機能を以下のように活用し、業務の効率化・保安の確保・レジリエンス向上に貢献します。

- 遠隔検針による現地検針作業の不要化、将来の労働力不足への対策
- ガス漏れ疑いなどの通報を受けた際の遠隔閉栓による迅速な安全確保
- ガスメーターでのガス遮断通報を受けた際の遠隔安全確認・開栓による早期復帰
- ガスメーターが発する警報情報などの遠隔受信による供給支障の早期覚知

当社は、スマートメーターなど最新技術の活用により、東邦ガスネットワークビジョンに掲げた「先進技術による現場の革新」、「揺るぎない安定供給と安全の追求」を実現していきます。

<参考1>スマートメーターの外観



<参考2>通信のイメージ

スマートメーターの通信は、近隣のスマートメーター間でバケツリレー式にデータを中継する「多段中継無線ネットワーク」と、スマートメーターとセンターシステム^{※5}を結ぶ「広域通信ネットワーク」で構成されます。



※1 通信機能付きのガスメーターです。通信接続することにより、遠隔検針などが可能になります。

※2 本年6月からの設置は、当社が導入しているガスメーターの約97%を占める家庭用ガスメーターが対象です。

※3 通信状態などによっては、従来通りの方法で検針などを行う場合もあります。

※4 ガスメーターには有効期限があるため、定期的に当社が無償で取り替えています。

※5 スマートメーターからのデータの収集や遠隔操作を行うための信号授受を担うシステムで、東京ガスネットワーク株式会社および大阪ガスネットワーク株式会社と共同開発したものです。